

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
067	年齢や興味関心・技術技能に応じた生涯スポーツを推進します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	町主催体育事業の実施（単位：回）	4	4	4	4	5	4	0	4	0	基準値：H25
	各種体育団体への支援（単位：団体）	2	2	2	2	2	2	0	2	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	町主催体育事業への参加（単位：人）	220	200	253	200	374	200	0	200	0	基準値：H25
	各種体育団体への加盟（単位：人）	1,141	1,000	1,091	1,000	1,186	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	町民の健康増進を軸として運動する機会の提供及びスポーツ団体の活動支援を通し、青少年の健全化と体育振興を図っているため必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	指定管理者や総合型地域スポーツクラブが熟成すると民間移行は可能性があるが、収益が見込める可能性が低いため町が主体となりスポーツ習慣のきっかけ作りをする必要がある。
有 効 性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。
	スポーツ推進委員による事業計画、指導が行われており適した方法で実施していると判断する。
効 率 性	2. 事業費コストに改善の余地がある。
	さらなる運動機会を提供するためには、事業費が増えていくと判断する。
公 平 性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。
	団体については加盟者となるが町民を対象としており、地域全体の利益につながることから公平性が図られていると判断する。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	スポーツ推進委員や各関係団体（育成会、少年団、指定管理者、JC）と協力を行って実施している。
課題・問題点	人口減や家族での休日の過ごし方の変化により、以前より参加者が減っている。 団体支援の補助金などについては団体活動の必要経費が年々増えているため増額してほしいという要望がある。
改善策	少しでも多くの方がスポーツ（体を動かす）行事に参加するよう事業周知や事業内容を検討。 補助金の増額については、要望する声が多くなってきたときに検討する必要がある。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	3. 改善を検討（事業内容） スポーツ推進員や指定管理者、総合型スポーツクラブと連携し、幼児から高齢者まで誰もが興味・関心や技能のレベルに応じた環境づくりに努めること。また、総合型スポーツクラブとは、今後の方向性について引き続き検討すること。
2 次 評 価	※事後評価につき対象外
外 部 評 価	※事後評価につき対象外
最 終 評 価	※事後評価につき対象外

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
068	スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	スポーツ合宿の受入（単位：件）	24	30	21	30	16	30	0	30	0	基準値：H25
	事業対象となる件数（単位：件）	2	10	2	10	3	10	0	10	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	スポーツ合宿の受入（単位：人）	926	1,000	887	1,000	2,070	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
	事業対象となる人数（単位：人）	73	200	47	200	89	200	0	200	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	2. 目標設定が町民ニーズ等に概ね合致している。課題解決のために必要な事業である。
	合宿誘致による経済効果は人数によるが食事や宿泊など地域経済活性化の一端を担っている。
妥 当 性	2. 民間等が主体的に実施すべき事業であるが、現段階では行政で実施する必要がある。
	ほとんどがNPO兩煙別学校と社会体育施設指定管理者が受入を行っている。 合宿者と町の接点が無いため、指定管理のノウハウが蓄積されたときは民間が主体的に実施が望ましい。
有 効 性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。
	更なる合宿受入事業を拡大する場合は環境整備が必要（宿泊施設、社会体育施設）になる。
効 率 性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。
	合宿記念品の額は少額なため、合宿者の宿泊や食事などの費用を経済効果を考慮すると費用対効果は高い。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	合宿記念品該当者の町内施設利用は5割減免となっており利用促進を促しているため受益者負担は適正と判断する。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	合宿者からの問い合わせがあったときは、事前に利用団体と調整を行っている。
課 題 ・ 問 題 点	施設の経年劣化が著しい施設については受け入れを断る又は制限している。 合宿申し込みが増加する大型連休や夏休みなどの期間の調整が困難である。 合宿記念品該当者が固定化されている。
改 善 策	老朽化については、第6次総合計画後期に含まれているため、改修はせず現状維持とする。 合宿団体と事業との調整については、関連施設・団体と協議の上、調整することとする。 合宿記念品を廃止する。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	3. 改善を検討（事業内容） 施設の状況を勘案し、関連施設・団体と協議の上、今後のあり方を協議を進めること。
2 次 評 価	※事後評価につき対象外
外 部 評 価	※事後評価につき対象外
最 終 評 価	※事後評価につき対象外

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
069	老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	10	14	12	9	9	2	0	4	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	社会体育施設数（単位：施設）	16	16	16	16	16	16	0	16	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有 効 性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。
	本来、早い時期に予防修繕として修繕をすることが望ましいが、予算の関係上、現段階では最善の計画と判断する。
効 率 性	3. 人件費コストに改善の余地がある。
	事務職でできる内容の修繕はあるが、大規模な修繕など専門的知識が必要となる。技師が行うと人件費及び事業費のコストが軽減される可能性があると判断する。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	年度別に計画している改修事業の優先順位を整理することとなり、指定管理者と協議をしている。
課題・問題点	計画されている修繕については、実施年度の優先度等を勘案し、財政推計等の状況を踏まえて決定しているが、後回しになってしまった修繕箇所は年々悪化している。後期計画時は算定が難しくなる。
改善策	施設の現状把握と修繕箇所の把握について、専門家を配置する施設管理グループなど設置を検討することも一つの手段と考える。 □ 突発的な修繕が増えてくると予想されるため予算額を上げる必要がある。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める 体育施設の安全な活用を維持・継続させるため、改めて計画的な施設・設備の補修・改修について検討すること。体育施設のLED化に向けては、先進地視察を行い慎重に進めること。
2 次 評 価	※事後評価につき対象外
外 部 評 価	※事後評価につき対象外
最 終 評 価	※事後評価につき対象外

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
070	ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	基本計画、測量	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実施設計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	改修面数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	改修施設数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	3. 目標設定が町民ニーズ等に合致していない。実施の有無について検討の余地がある。
	分野別懇談会では、修繕するのであればできるだけ早い時期に改修を行ってほしいと意見があったが、近年は芝生の状態が改善されてきていることから要望は無くなってきている。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	実施の際は、公共施設のため町が実施することが望ましいと判断する。
有 効 性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。
	平成13.14年度に張替えを実施してから10年以上経過しているため張替えは有効と判断するが、プロスポーツを行うための施設ではないことと改修費用が多額なため現段階としては時期を見ながら検討が最善である。
効 率 性	2. 事業費コストに改善の余地がある。
	人工芝のランニングコストは、20年程度の長い年月で考えると効率性は良いと考えるが、未確定要素があるため検討の必要がある。
公 平 性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。
	利用者は全町民が対象であるが、実際の利用者は一定の競技者に固定化される。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	後期計画で検討
課題・問題点	後期計画で実施するときは、東京オリンピックの関係で改修費用が上がる可能性がある。
改 善 策	実施時期が決定した時点で、専門家による基本設計、実施設計を経てから改修工事をするのが望ましい。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	後期計画の検討時に、改めて専門家を交えて基本設計、実施設計、改修工事について協議し、全体費用と財政面を勘案しながら、検討、協議を行うこと。
2 次 評 価	
	※事後評価につき対象外
外 部 評 価	
	※事後評価につき対象外
最 終 評 価	
	※事後評価につき対象外

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
071	栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	1	1	1	1	1	1	0	1	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	施設数（単位：施設）	1	1	1	1	1	1	0	1	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有 効 性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。
	最適な実施方法である。
効 率 性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。
	余地はない。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	修繕を実施。
課 題 ・ 問 題 点	老朽化施設であることから、毎年修繕箇所が突発的に発生してくる事が予想される。
改 善 策	修繕計画に基づいた修繕が必要とされる。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	安全な施設として維持するため、現状の把握とともに計画的な管理に努めること。
2 次 評 価	
	※事後評価につき対象外
外 部 評 価	
	※事後評価につき対象外
最 終 評 価	
	※事後評価につき対象外